

我らの南



令和3年 11月19日

〒851-0245 TEL095-836-0085
長崎市千々町513番地
長崎市立南小学校長
田川 雄一

学校教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童・生徒の育成



11月16日(火)、いつもは静かな環境の南小ですが、今日ばかりは活況を帯びた1日でした。東京からその道の専門家にお越しいただき、午前中はクジラについての学習、午後はミニコンサート、とても充実した1日を過ごすことができました。

アウトリーチコンサート 歌って楽しいな オペラ歌手 吉川健一さん、ピアニスト 石野真穂さん



プロのオペラ歌手、プロのピアニストによるコンサート、会場は南小音楽室です。吉川さんは数々の国際音楽コンクールで受賞経験があり、お二人とも新国立劇場でのオペラにも出演されています。



幸せなら手をたたこう！みんな笑顔（表情は写ってませんが…）



風船を通して振動がピンピン伝わります

あっという間の1時間でした。響き渡る歌声やパフォーマンスは圧巻でした。歌の楽しさ、音楽のすばらしさを十分に満喫することができました。一流歌手のライブをこんなに近くで体験できるなんて、めったにないことです。会場みんなが幸せな気分になりました。

校歌もいっしょに歌いました。マスク越しではありますが、いつにも増して気持ちの入った歌声でした。みんなの気持ちが一つになり、感動すら覚えました。

帰り際、お二人は、「この学校に来て、子どもたちと出会えて、本当によかったです。」とってくださいました。たいへん嬉しいことです。新国立劇場の舞台からすると南小の音楽室は比較にもならないほど小さなものです。しかし、舞台が大きかろうが小さかろうが、今、目の前にいる観客を満足させようとするその姿に、学ぶべきところがあると感じました。これぞプロフェッショナルです。

本物に触れる機会は貴重です。今回、このことをつくづく実感しました。これからもできる限りこうした機会を設けていきたいと思えます。

クジラ博士の出張授業 日本鯨類研究所 クジラの大きさを体感！



研究員の方の貴重なお話



クジラのひげおっかい



あごから聞こえる？



くじら料理を堪能

「お～！」体育館いっぱい広がるシロナガスクジラをみて思わず声が出ます。体長30mと言ってもピンときませんが、実物大をみるとその大きさを実感できます。口は人間がぱっくり飲み込まれるほどの大きさです。これでっかいクジラが、どんなものを食べ、どんな生活をしているのかなど、研究員の方から実物や写真を見せてもらいながら学びました。

おくんちの「鯨の潮吹き」、お正月の鯨料理など、長崎は昔から祭りや食文化等でクジラが生活に密着している地域です。しかし、商業捕鯨が禁止されていた期間が長かったこともあり、今の子どもたちにとってクジラは思うほど身近ではなさそうです。そうした意味で今日の体験は貴重だったと言えます。この日の給食のメニューにはクジラが出され、みんなでおいしくいただきました。今日1日で、ぐっとクジラを身近に感じたことでしょう。

伊王島小4年生と道徳の授業 オンラインで意見を交流

11月18日（木）伊王島小4年生との道徳の授業をオンラインで実施しました。体験するとわかるのですがオンラインはけっこう緊張します。しかも今日は研究授業、周りには先生たちがいて、普段とは違う環境の中での授業でした。そんな中でも、両校の子どもたちは自分の意見をしっかり言え、本当に素晴らしかったです。いつもは2人だけの授業で、多様な考えに触れる機会が限られています。伊王島も同じような課題があります。今回は、小規模校同士、よい刺激となり、お互いメリットのある交流ができたと思います。



親子レク みんなで楽しんだスカイクロス！

11月13日（土）育成協主催で「親と子のレクレーション大会 スカイクロス」を実施しました。前半は室内（体育館、校舎内）、後半は野外（運動場）での競技となりました。みんなで楽しいひとときを過ごすことができ、親睦が深まりました。みなさん、お疲れ様でした。